

連

載

我がクラブの人気プログラム⑤

「とらまるアスリートクラブ」

～とらまるクラブONLY・ONE～

1 プログラム概要

- 実施頻度：毎週火曜日(17:00～19:00)
- 場 所：香川県東かがわ市立三本松小学校体育館・グラウンド
- 参加者層：小学1年生～中学2年生(定員10名/現参加者21名)
- 実施種目：ニュースポーツ、陸上、筋トレを組み合わせた複合プログラム
- 参加料：会員/月額2,000円、非会員/月額2,500円(保険料は別途徴収)
- 経 費：0円(参加料がそのまま講師謝金にあてられる)
- 運 営：指導者2名
- 告知方法：東かがわ市教育委員会を通じて、市内全小中学校にチラシを配布
四国新聞の特集に指導者が掲載される
- その他：会員と非会員の差額500円は、年会費の代わりとしてクラブ事務局へ納められる。
競技会参加など、会員から希望があればクラブ単位で競技団体への加盟を検討中

2 子どもたちの基礎体力向上を目指し、新教室開設

指導者は、市内高校陸上部で外部講師を務める傍ら東かがわ市スポーツ推進委員(以下、推進委員)としても活動しており、その中で“とらまるクラブONLY・ONE”(以下、クラブ)会長と出会いました。もともと指導者は、放課後に子ども教室でスポーツをさせたいと思っており、子どもたちのスポーツ環境についてクラブ会長と語り合う中で「陸上を軸とした子どもの基礎体力向上につながる教室をつくりたい」というお互いの思いがかみ合いました。

指導者は平成27年3月に上記外部講師を辞任し、同年5月にクラブ教室の1つとして“とらまるアスリートクラブ”を開設。東かがわ市教育委員会を通じて、市内全小中学校(小学校6校、中学校3校)にチラシを配布しました。1回目は無料体験として実施したところ「楽しい!」と子ども同士の口コミで広がり、定員10名のところ現在は21名の子どもたちでにぎわっています。

3 大事にしている3つの運営ポイント

このプログラムを導入した目的について、「『自分はどんなスポーツがしたいのか、どんな種目に向いているのか』を子ども自身に気づかせることが一番の目的です」と指導者は語ります。運営の中で特に大事にしているのは、以下の3点です。

●子どもたちの自主性

指導者はプールの監視係に近い存在であり、何をして遊ぶのか、チーム分けはどうするのか等、子どもたちが主体となって行います。小学校高学年の児童が低学年の児童の面倒を一生懸命見えています。

●楽しさと新しさ

陸上競技を軸としながらも、下表(表-1)のとおり、プログラムの半分以上は、ニュースポーツを中心とした“遊び”になっています。この方針が、「種目にこだわらず子どもに楽しく運動をさせたい」という保護者のニーズに的確に応えています。

遊びの中では特にドッジビーが人気で、最近では別のニュースポーツを用意しても「先生、ドッジビーしたい!」という声があがるほどです。

●子どもたちの個性

現在、21名(小学生20名、中学生1名)の子どもたちが参加していますが、指導をするにあたり、事前に保護者にアンケートを行っています。アンケートには、氏名、生年月日、学校名・学年、血液型、好きなスポーツ、住所、保護者の氏名、連絡先(電話番号・メールアドレス)、健康状態(花粉症、アレルギーなど)、故障・病歴、クラブに望むことなどが盛り込まれており、指導者はそれらを基にして全員分のプロフィールを写真付きで手作りしています。

アンケートを行った目的は、子どもの顔と名前をいち早く覚え、健康状態を把握しておき、ケガなどアクシデントがあった場合の対処に役立つなど、一人一人に合った指導をするためです。そして、一人一人の体力差や性格を考慮してペアを組ませたり、引っ込み思案の子も一緒に楽しめるように声をかけるなど、子どもが心から楽しめるよう配慮に余念がありません。

■ある日のプログラム(表-1)

時間配分	内 容
20分	準備運動、縄跳び
40分	ドッジビー (本気チームとレクチームに分かれ、1面ずつ使用)
30分	スポーツチャンバラ体験
30分	ダッシュ、腕立て伏せ、腹筋



横一列になってみんなでダッシュ!



指導者よりスポーツチャンバラの道具について説明を受ける子どもたち



とらまるアスリートクラブに参加している子どもたち



フライングディスクをボール代わりにして行うドッジビーは人気のプログラム

4 新たなニーズにより広がる今後の活動

これまで、東かがわ市には小中学生を対象とした陸上ができる場がありませんでした。そのため“とらまるアスリートクラブ”は大変注目を集めており、四国新聞への掲載、西日本ラジオへの生出演など、メディアへの露出が次々決定しています。反響の大きさに喜びながら、「市外の者ですが、参加したいです」「中高年だけど非常に興味があります」という声も届くなど、新たなニーズも実感しています。

今後は、「中高年（マスタース世代）対象のランニングクラブ開設、市社会福祉協議会“サロン事業”での筋トレ系プログラム提供、市活性化につながる陸上系大会の開催なども検討しています」と笑顔で語る指導者に、ますます市民にとってなくてはならないクラブになると実感しました。

（クラブアドバイザー／山家春香）

クラブプロフィール

●クラブ概要

東かがわ市は、平成15年に旧白鳥町・旧引田町・旧大内町の3町が合併してできた市です。旧白鳥町・旧引田町には合併前から総合型クラブが設立されていましたが、旧大内町にはなかったため、県体協より市に打診がありました。そして、平成16年度に文科省が策定した「育成指定クラブ委託事業」の受託が決まり、当時の行政担当者が市内スポーツ関係者に呼びかけ設立準備委員会が発足しました。ところが、クラブ設立の機運が高まっていた最中、行政担当者の異動が決まり、まとめ役が不在になりました。何とか設立総会を開催するも、徐々に人が集まらなくなり、定例会も年次総会も開催できない状態が続きました。

そんな中、当時のクラブマネジャー（現会長）が県総合型クラブ連絡協議会の交流会に参加、県内クラブと交流する中で「もう一度クラブを立て直したい!」と決意します。その後、平成23年から3年間かけて一から組織編成を行い、「自分が楽しく、皆が楽しく、未来が楽しい」をモットーに運営側も楽しみながら活動できるクラブづくりに尽力しています。

- 設立年月日：平成18年5月8日
- 所在地：香川県東かがわ市大内地区
- 運営：会員数80名(平成27年7月現在) 予算規模20万円(平成27年度)

特徴：行政やスポーツ推進委員と協力しながら、新しいニーズに挑戦しています。

連絡先：〒769-2701 香川県東かがわ市湊1104-3
TEL：0879-26-1133
Eメール：toramaru@ssc.jp.net
ホームページ：<http://ssc.jp.net/toramaru>